

## 平成28年第11回花巻市教育委員会議（定例会）議事録

### 1. 開催日時

開会 平成28年10月25日（火） 午前11時00分

閉会 平成28年10月25日（火） 午前11時55分

### 2. 開催場所

石鳥谷総合支所 3-2、3-3会議室

### 3. 出席委員（5名）

委員 照井 善耕（委員長）

委員 中村 弘樹

委員 役重 眞喜子

委員 伊藤 明子

委員 佐藤 勝（教育長）

### 4. 説明のため出席した職員

教育部長 市村 律

教育企画課長 岩間 裕子

小中学校課長 沼田 弘二

こども課長 高橋 靖

文化財課長補佐 小原 美知子

### 5. 書記

教育企画課 課長補佐 佐々木英智 係長 小原正吾

上席主任 佐々木晶子（書記）

○照井善耕委員長 おはようございます。只今から、平成28年第11回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。会議の日時、平成28年10月25日、午前11時、会議の場所、石鳥谷総合支所3-2、3-3会議室。日程第1、会期の決定であります。本日よりすることにご異議ありませんか。異議なしと認め、本日より決定いたします。

日程第2、報告事項に入ります。事務局から報告をお願いいたします。沼田小中学校課長。

○沼田弘二小中学校課長 平成28年度岩手県中学校新人大会前期分の結果についてご報告いたします。資料No.1をご覧いただきたいと思っております。10月15日、16日に行われました岩手県中学校新人大会の前期日程において花巻市内の中学校がご覧のような成績を収めましたのでお知らせいたします。

特徴的な部分として、陸上競技共通400mで石鳥谷中学校の伊藤君、共通走り高跳びで花巻中学校の高橋君が1位に輝いております。また、その他にも2位、3位、入賞という結果が出ております。団体競技ではバスケットボールで花巻中学校女子が2位、ソフトテニス男子団体で湯本中学校が2位という結果です。このほかにもバスケットボール男子で石鳥谷中学校が3位、また、ソフトボールやテニス女子団体でベスト8の入賞を果たしております。今後とも学業との両立を図りながら来年度の中総体に向けて益々の活躍を期待しているところです。なお、今回は前期日程ということでご覧の競技ですが、後期日程は11月19日、20日の2日間でございます。花巻会場では総合体育館でハンドボールが行われます。以上です。

○照井善耕委員長 何かご質問等ございますでしょうか。なければ次の報告事項をお願いします。沼田小中学校課長。

○沼田小中学校課長 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。資料No.2をご覧ください。1ページから3ページにつきましては過去の平均正答率の推移と学校別の正答率の集計表となっております。これにつきましては取扱注意でお願いします。こちらは今回の説明では省略しますので後でご覧いただきたいと思っております。

次に、全国学力・学習状況調査から見える花巻市の状況（概要版）でございます。この資料については市のホームページで既に公表しておりますので中身についてご説明いたします。平成28年度全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）は4月19日に小学6年生843名、中学3年生862名を対象に実施され、その結果が、9月29日に公表されました。実施した教科は、国語、算数それぞれA問題、B問題に分かれております。A問題は主に知識の定着状況を見る問題、B問題は主に活用を見る問題です。

小学校は、国語Aが73%、国語Bが59%、算数Aが78%、算数Bが47%となっております。国語B問題を除く全ての教科で県平均、全国平均と同等の結果となっており、概ね好ましい状況となっております。

中学校は国語Aが76%、国語Bが67%、数学Aが59%、数学Bが41%となっております。昨年度はどの教科においても全国や県の平均正答率を下回っている状況でしたが、今年度は国語A、Bで全国平均正答率と同等になり、国語B問題では県平均正答率を上回る結果となりました。また、数学は県平均正答率と同等の結果でした。国語、数学ともに改善の傾向が見られると捉えています。

次に、平成28年度児童生徒質問紙調査の状況についてお話いたします。全国学調では、教科調査と併せて児童生徒へのアンケート調査を行っています。85項目の質問の中で全国や県よりも肯定的な回答が上回っているものを下に記載しております。具体的には「毎日朝食を食べている」「算数、数学の問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」「ノートには学習目標とまとめを書いている」「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」が全国や県よりも良好であることが分かりました。一方で課題ですが、家庭学習時間が少ない状況がございます。これは継続した課題となっております。

次に、教科調査と質問紙調査のクロス集計から分かることですが、教科の得点率と質問

紙の結果で相関がある部分について記載しております。「朝食を毎日食べていますか」「普段、1日あたりどれくらいの時間ゲームをしますか」など以下記載している項目で肯定的に回答している児童生徒は教科調査の平均回答率も高く、関連があるということが分かりました。また、学習意欲や学習方法について「児童生徒が、学習のねらいを理解し、学習したことをまとめることができる」「進んで発言したり、グループで積極的に話し合ったりする学習をしている」「国語や算数・数学の学習が「好きだ」「大切だ」「分かる」といえる」「読書が好きだと回答している」「問題に対して、最後まであきらめず取り組もうとする」の質問で肯定的な回答している児童生徒の方が平均正答率が高いという結果が分かりました。

最後に、結果をもとに「学校」や「家庭」で改善の方向性を考えることが大切ということで、この概要版を締めくくっているところです。

以下、次のページ以降もホームページに掲載しているところですが、今お話しした概要版を更に詳しくしたものです。クロス集計のグラフを載せたり、今年度の結果から改善の方向性を考えるということで「学校では」「家庭では」「学校と家庭が連携して」「地域や行政の支援のあり方」に分けて取り組みを掲載しているところです。先般行われた校長会議におきましても概要版について話して、各学校でも全国学調の結果をもとに改善の取り組みをするということです。以上で報告を終わります。

○照井善耕委員長 少し読む時間を取ります。何か質問等はございますでしょうか。役重委員。

○役重眞喜子委員 花巻市の状況の概要版と詳しいものがありますが、このように丁寧に分析したものは初めて見るような気がします。素晴らしいと思って、やはりこれが必要なことなんだと思います。これは今までもこのような形で公表してきたものですか。

○沼田弘二小中学校課長 このように具体的にホームページで公表をしたのは平成27年度からです。

教育委員会会議の場においては、昨年度の結果の公表が8月末でして、まだホームページ資料ができていない段階でしたので、昨年度の会議で出した資料は今回の資料でいうと1ページから3ページまでの正答率の推移や一覧のみで分析は出していなかったと思います。

○役重眞喜子委員 このペーパーの活用というのはホームページで公表するほかにどのような形で行うのですか。各学校で保護者に配ったりもするのですか。

○沼田弘二小中学校課長 10月12日に行われました校長会議でもこの資料をお示したところです、それに併せて各学校でも積極的に公表するようにお願いしたところです。というのは、全国と比較して学力調査を公表して地域、保護者に周知しながら一緒にやっっていこうという部分が岩手県や花巻では低いということが分かりまして、積極的にやっていただきたいと説明したところです。

○役重眞喜子委員 花巻市では低いというのはどういうデータから低いということですか。

○沼田弘二小中学校課長 全国学調では教科調査、児童生徒質問紙のほかに学校質問紙がございます。その質問項目の中に「この調査結果を積極的に公表して向上に役立てましたか」という項目があるのですが、この値が非常に低いということで積極的な公表をお願いしたところでは。

○伊藤明子委員 「毎日、朝食を食べている」とか項目がございますが、やはり家庭環境等で学力などに差があると見受けられるでしょうか。

○沼田弘二小中学校課長 家庭、習慣というのが大事ですということはデータでも出ておりますので、各学校でも基本的な生活習慣を身に付けていきたいと思いますという事は呼びかけているところです。

○中村弘樹委員 家庭学習の時間が少ないことについて、部活とかスポ少が要因になっているとか、それを改善するとかはないのでしょうか。

○沼田弘二小中学校課長 それについては関連が高いと思われます。家庭学習をしたくても部活で時間が削られていると言われていたところでは。実際、生活アンケートを昨年度とりましたけれども、平日に帰宅が7時過ぎる子どもさんが2、3割おります。また、休日についても部活で4時間以上活動している子どもさんが同じく2、3割おりますので、家庭学習の妨げになる要因の一つであるだろうと捉えております。学校の部活もそうですが、スポ少も大きく関わっているのではないかとということで、本年度の取組みとしては市P連の研修会でこの問題について呼びかけを行っておりますし、スポ少本部が体育協会にありますので活動の適正化について文書で依頼をしているところです。

○役重眞喜子委員 今のことにも関連して、ホームページに載せているだけだと見る人も見ない人もいますし、校長会経由で学校から公表することもそのとおりなんですけれども、分析と改善の方向がしっかり書かれていますから、花巻市教育委員会として、このように分析と改善を講じていますよということを、色々な場所でもっと積極的に出していいんじゃないかと思います。もし、スポ少の問題が課題としてあるのであれば隠すものでもないで、どんどん出して行って、包み隠さずお知らせしていきながら、それをベースにして地域も保護者も考えてくださいねということで活用していただければと思います。今、市P連の研修の話もありましたし、例えば、ワークショップとか市政懇でもどんどん教育委員会から課題提供をしていくこともあると思いますし、何かと学力テストの結果に関しては隠しているんじゃないかとかあるものですから、むしろこちらから出していくことを活用としてお考えいただきたいなと思います。

○沼田弘二小中学校課長 ありがとうございます。今の時点でどの場でどのようにということはまだ検討中ですが、ご意見として受け止めまして様々な形で周知できるようにしたいと思います。

○照井善耕委員長 「平成28年度の結果から、改善の方向性を考える」ですが、問題点を把握するときに課題として何が挙げられて、それを色んな場でどう解決していくかということが一番大事なところではないかという感じがします。

「学校では」のところをみると「学習への意欲を高めるために児童生徒が主体的に考え、行動することができるような学習方法を工夫するために「めあての確認」や「振り返りの活動」を的確に位置づける」と具体的にあるんですね。私も授業に参加させてもらう機会があるんですけども、先生方は分かっているけれども子ども達に課題が伝わっているのか捉えきれていない部分もあるんじゃないかと思います。そのあたりを、先生方の間で話し合いを持つとか、あるいは教育委員会の担当が訪問したときにもうちょっと深く入ってくれるとか、そういうことが必要な感じがします。

「家庭では」のところには、家庭学習が強く出てくるんだけど、子ども達が他の県の人達と比べると家庭学習がちょっと弱いというのは一体何なのかなと。ひとつ思いつくのは部活、スポ少のことがあるんですね。それから家庭ではどうなのか、本来、家庭は情緒を安定させることが尊重されなければならないと思うんです。それが、いきなり家庭学習となると、親としては「勉強しろ」という関わりにならざるを得ないんだけど、授業の様子を聞いてみたり、今日は何ができるかやりとりをしながらやってみたり、何か関わりながら支援することが必要だと思います。また、「家族との対話も重要です」とあるのですが、そのためには親の状況はどうなのか。疲れ切って帰ってきて、ごはんを作って食べさせて、子どもの相手もできなくて、一方、子どもはゲームで時間を潰している。そういう状況があるのであれば、そこを課題にしながら、やりとりをして解決していかないと。そのあたりは全国と比べても悪いわけじゃないと思うから、ちょっとのやりとりで非常に結果が出てくる気がするんですね。市P連の研究大会で情報提供というだけじゃなく、プログラムのひとつに位置付けてもらってお父さんお母さんの家庭での話を聞きながら、一步踏み出した取組を考える時期かなという感じがします。

以上でございますけれども、ほかに何かございませんか。なければ続いての報告をお願いします。高橋こども課長。

○高橋靖こども課長 花巻市立保育所民営化の進捗状況につきまして、ご報告をさせていただきます。資料No.3をご覧くださいと思います。

花巻市立保育所の民営化につきましては、現在第1期計画に基づきまして対象園3園の民営化に向けて作業を進めているところでございます。民営化の移管先につきましては7月に決定をいたしまして、当月の教育委員会議定例会でもご報告させていただいているところです。その後の進捗ですが、8月に移管先法人と対象園3園の職員、それから、保護者の方々への紹介を行ってございます。そのうえで三者による会議を設置しました。この三者会議につきましては円滑な引き継ぎを行うために保護者代表4名、法人の代表4名、

市の代表4名で構成してございます。市の代表は、それぞれ対象園の園長と主任保育士と当課から2名です。三者会議での協議の内容でございますが、ひとつは円滑な引継保育のための移管計画の策定、それから、引継保育の実施、移管後の保育内容の協議を行ってございます。3園によってばらつきはありますが、これまで2回から3回、実施をしてございます。三者会議において話し合われた内容は逐次、保育園ニュースという形でそれぞれの園の保護者の方にお知らせする体制をとりながら進めてきました。

協議の中で進めております公立保育所移管計画につきましては、移管先法人の決定から平成32年3月31日までという期間で定めたところです。この計画期間につきましては4期に分けて設定してございます。第1期は移管先法人の決定から引継保育開始までということで、本年8月1日から9月30日でございます。内容は6か月の引継保育の体制、今後のスケジュールの協議でございました。第2期は引継保育開始から移管までということで、本年10月1日から平成29年3月31日、内容は移管先法人が現在の保育内容を継承するために保育内容や行事について移管先の法人から保育士の派遣をいただきまして引継保育を行う期間でございます。そして、第3期は移管後の1年間ということで設定しています。平成29年4月1日から平成30年3月31日まででございますが、これにつきましては、移管先法人に運営が変わっても保育内容が変わることがないように、また、移管によって児童への影響がないように見守る必要があることから引き続き計画期間に定めて進めるものでございます。第4期につきましては、移管後2年目以降ということで平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間になります。ここは移管後の検証を引き続き行いながら、不具合等がある場合の訪問指導、あるいは保育内容につきましてはの現状確認を行っていくことで、4つの期間に分けての移管計画を定めたところです。

次に、引継保育でございます。これにつきましては10月3日から引継保育士3名を派遣いただきまして実際始めているところでございます。引継保育を開始するにあたりましては移管先法人と市の間で派遣に関する協定書を取り交わしをして、花巻市教育委員会職員として任命したところでございます。引き継ぎにあたる費用負担につきましては協定書に基づきまして市から移管先法人へ支出をする予定でございます。

その他ですが、今後は給食や保育園の管理運営業務、園舎管理の引継、引継保育にあたっての保護者アンケートの実施などが計画的に行われるよう、移管計画に沿いながら引継保育の進行管理を行います。また、事務手続きでございますが、公立保育所としてはこの3園は本年度で廃止となるところでございますので、廃止に向けた条例等の一部改正、あるいは園舎の処分に関する部分につきましては12月市議会定例会に提案をさせていただきたいということで、現在準備を進めている状況でございます。只今申し上げた民営化事務の経過につきまして、細かい月毎の経過ということで表にしてございますので、こちらも参考にご覧いただきたいと思います。現在の花巻市立保育所民営化の進捗状況につきましては以上でございます。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。只今の報告についてご質問等ある方はお願いいたします。

第3期に「設置運営が移管先法人が変わっても保育内容が変わることがないように」とあ

るのですが、ちょっと今更ですが、ここでいう保育内容が変わるとか変わらないというのは具体的にどういうことですか。

○高橋靖こども課長 保育内容ですが、法人立の保育所では独自の取り組みをされている部分もございます。例えば、体力向上のために独自のリズム体操を取り組まれているところ、あるいは、年少児からの語学体験などの取り組みをされているところもございます。対して公立の保育園につきましては国で定めた保育指針に沿った基本的な、丈夫で、元気よくといった形の保育を目指すことがベースになってございます。この基本的な保育を公立園の趣旨に沿った形で進めていただきたいということです。それぞれの保育園の取り組みにつきましては、良いところもあるとは思いますが、それが良くてその園を希望される保護者さんもおられますが、反対にそこまではというご意見があることは事実なんです。従いまして、公立園を今後運営する場合には基本的な保育をまず継承していただき、決定にあたりましてはそれをお願いして決定したことになってございます。

○照井善耕委員長 今回の説明だと、法人立は国で定めた保育指針をやらない代わりに、外国語に触れるとかやっている現状があるの。

○高橋靖こども課長 保育指針は基本的なものですから、やらないことはないと思いますが、限られた時間の中で取り組みの部分からいうと、園の保育の理念があると思いますので、そちらに重きを置いていることはあるんだろうと思います。

○照井善耕委員長 確認ですけれども、法人立であっても国で定める保育指針には沿っているということですか。

○高橋靖こども課長 基本的にはそういう形になってございます。

○照井善耕委員長 ちょっと心配するのは、保育内容を変えないよという縛りがあることで、子ども達にとって明らかに良い、今の保育内容を積極的に発展させたいとか、国の基準も守ったうえで新しい発想を取り入れて保育を進めていく。そういうことも一切だめということですか。

○高橋靖こども課長 その部分に関しては三者会議の中で、例えば、今の公立園の全体的な保育方針ではなくても、行事等で、今の保護者さんでも改善してほしいと思う部分はあると思うんです。ですので、そういったところは三者会議の中で合意があれば変更は差支えないと思っております。

○照井善耕委員長 分かりました。ほかにございませんでしょうか。伊藤委員。

○伊藤明子委員 引継保育の部分で、「協定書を取り交わし、平成28年10月3日から引

継保育士3名を派遣いただくとともに、花巻市教育委員会職員として任命し」とあるのですが、法人立にすると法人でお金を払うという形ではないんですか。

○高橋靖こども課長 派遣いただく職員はあくまで法人立の所属ではありますが、ただ、その中で公立園に勤務をいただくということですので、公立園の服務規程も当然ありますので、協定書につきましては雇用関係ではなく、サービスの部分ですね。公務員としてのサービスを守っていただきたいという中身の協定だにご理解いただきたいと思います。

○市村律教育部長 補足しますけれども、引継保育のために3名を公立園に派遣していただくことになるのですが、元々法人で運営している保育園から人を3人派遣してもらうことになるので、補填するためプラス3人分の人件費が必要となりますので、法人さんには負担をかけないように、この半年間に限ってその分の人件費は協定に基づいて市が負担しますということ。身分に関することは先ほど課長が申したとおりです。移管後は当然法人の園になりますので、そちらから給料が払われることとなりますし、市からは委託料ということで基準に基づいて従来の法人園と同じように委託料を支払うという形になります。

○照井善耕委員長 単純に考えると、派遣された3人分は法人で補充しているということですよ。

○市村律教育部長 そうです。法人立の保育士が欠けることとなりますので。

○照井善耕委員長 ほかにありませんか。

○伊藤明子委員 どこに行っても同じサービスを受けれることが大事なことだと思うので、そこをきちっとやっていただければ良いと思います。細かいことを言うと、おやつのことでも何でもあそこは良いよ、あそこは良くないよとならないようにしていただければと思います。私の考えは、保育園とか幼稚園を充実させると働くお母さん達が「花巻に行けば良いよ」となって自然と人口が増えるんじゃないかと期待するものでありますので、時間的なことや内容も含めて充実させていただければ、いつも市長さんが人口を増やしたいとおっしゃる、そののところにいき当たるんじゃないかと思うんですね。働きたいけれども子どもを見てくれるところがないとか、託児所を併設している職場はあるけど求人がないという話も聞いたりするので、やはり保育園の充実、特に今は核家族になっていますので、おじいちゃんとかおばあちゃんも若くて働いていますから面倒をみれなくなってしまうので、保育園、幼稚園を充実させてくだされば良いなと思っております。よろしく願いいたします。

○照井善耕委員長 法人立になって、結果として良かったなとなるようにお願いします。

○伊藤明子委員 花巻に行けば手厚くやってくれるという話があれば子どもを産む人も増



えるかもしれないし、引っ越して来てここで産む人も増えるかもしれないなど期待するところではございます。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。三者協議を重ねながらより良いものにしていくということでもよろしくをお願いします。それでは今の件は終わりにします。それでは、次の報告をお願いします。岩間教育企画課長。

○岩間裕子教育企画課長 子どもたちと地域のより良い未来を考える市民ワークショップ『未来創造 知恵出し会議』の開催についてご報告をさせていただきます。

会議の内容については資料No.4に書いてございますが、始めに、会議を開催するにあたった背景をご説明をさせていただきたいと思っております。昨年度、策定いたしました教育振興基本計画において、人口減少に歯止めをかけるという市全体の課題がある中で、今後の児童生徒数の推移を予想しつつ、発達段階に応じた学びの場の提供について検討する必要があるということをお述べております。このため、昨年度、保育教育環境検討会議を設置いたしまして、盛岡大学、岩手大学の先生や市校長会の代表、PTA、保護者会の代表、4地域の行政区長などの方を15人メンバーといたしまして会議を設置し、そこに様々な資料を提示させていただき、ご意見を伺ってきた経緯がございます。しかしながら、学校につきましても地域のコアの施設の意味合いも強いということで、一部の方々の意見をもって全体の方針を決めるのは好ましくないということで、このことについては会議の中でもより多くの保護者や地域の声を聞く必要があるというご指摘を受けてきたところです。時期をみて、地域の皆様のご意見を聞く機会を設けることは予定しておりましたけれども、検討した結果、手法としてワークショップの方式を採用してより多くの保護者や地域の方の参画を得たいと、さらに時間をかけてじっくり話し合いたいということで、来月から市民ワークショップを開催することに致したところでございます。今までの基本的なパターンとしては、市がこう考える、こうしたいということをお示しして、それに対して、市民の皆さんが賛成とか反対とか意見を述べることが多く、さらにそれをしたときに発言する人が限られるという状況があったということで、今回のワークショップでは行政で考えを示すのではなくて、現状を知っていただくための資料を様々お出ししたうえで、市民の方々が互いに意見を出し合って0から考えていただきたいと考えております。そのため、会議の進行も市民のファシリテーターということで市民の方をお願いしており、参加者も来年まで議論していただくことでご推薦いただいた状況になっております。来月4日から16日でブロックを分けて実施いたしますが、じっくり話し合ってくださいのために様々な時間スケジュールを組むと最低でも1回で2時間半の時間をとらないと議論できないこともあり、午後1時半から午後4時までで実施をしたいと考えております。会議の開催については夜間等の開催も考えたところでございますが、保育園の保護者も対象とすることもあり、夜間はご父兄さんに家に居ていただくということも児童生徒の安全の面から考慮したいということもあり、今回は1時半からの開会ということで調整させていただいたところです。開催時間については今後参加者の方々からご意見をいただきながら2回目以降は変更の可能性もあるかと捉えております。ワークショップは公開で実施いたしますので、ぜひ

ひ委員の皆様も時間が合うようであればのぞいていただければと思っておりますのでよろしく願いいたします。以上でございます。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。何かご質問ございますか。役重委員。

○役重眞喜子委員 今、背景でご説明いただいた、保育教育環境検討会議との関係と位置づけなのですが。検討会議はまだ継続中ということはこのワークショップの結果はフィードバックして話し合いがなされていくという感じですか。

○岩間裕子教育企画課長 はい、そうです。

○役重眞喜子委員 市民のファシリテーターはそれぞれのブロックで誰かお願いするのですか。

○岩間裕子教育企画課長 市民のファシリテーターについてはそれぞれのブロックで変えてしまうと、やり方が変わることもあるということで、4会場全て同じファシリテーターをお願いします。初めての試みなので何回か打ち合わせをしながら詳細を詰め、偏りがないように全部のブロックで同じような話し合いができるように進めたいと思っております。

○役重眞喜子委員 先ほど時間帯の説明について、そのとおりののですけれども、私の耳にも、せっかく保護者が意見を言える場を設けてもらったのにこの時間帯とこの場所、平日では行かれないので何とかしてほしいという声が聞こえました。それもいろんな状況で今回はこういう状況だと思いますと話しました。今回だけの話ではないと思いますし、場所も近くであれば行きやすいですし、例えば、託児所があって参加できるシステムがあれば、今後のこととして検討いただければと思います。このような声があったということをお伝えしておきたいと思います。

○岩間裕子教育企画課長 1回目のワークショップ終了後に開催時間についてはアンケートを取らせていただいて、その結果をもとに2月のワークショップの時間や場所を検討させていただきたいと思っております。ただ、時間が結構かかるので遅い時間にもつてくると、保育園などに子どもがいるご家庭を考えると夜間の選択は勇気がいるなど考えておりました。

○照井善耕委員長 まず、やってみるということですね。ありがとうございます。

以上で本日の教育委員会会議は閉会といたします。